
【クレジットカードに関する総合調査】 2009年度版 調査結果レポート

2010年4月

株式会社ジェーシービー
ブランドマーケティング部

JCBでは2000年以降、毎年、消費者の皆様(JCB会員・非会員を含む)を対象としてクレジットカードの利用に関する消費活動についての実態を把握することを目的とした調査を実施してまいりました。

この度、本年実施の調査結果がまとまりましたので「クレジットカードに関する総合調査2009年度版」をご報告いたします。本資料では、クレジットカード市場(保有・利用実態)について調査を実施し、その結果をまとめております。

本資料を、消費動向を把握する上での一つの素材として、社会的な分析にご利用いただければ幸いです。

今後も、JCBは、本調査を通して、多様化する個人消費市場に対応し、サービスの拡充に取り組んでまいります。

目次

I. 調査設計	3
II. 結果の概要	4
1. クレジットカード保有率	5
2. クレジットカード保有・携帯枚数	6
3. クレジットカード利用頻度	7
4. クレジットカード利用金額	8
5. 保有クレジットカードごとの利用理由	9
6. クレジットカード利用業種	11
7. 支払いの際のクレジットカード利用割合	14
8. 月平均生活費とクレジットカード利用額	16
9. 月平均生活費とクレジットカードの保有状況	17

I. 調査設計

- 調査時期 : 2009年9月
※2008年までは毎年7月に実施
- 調査方法 : 郵送法
- 調査地域 : 北海道・東京・神奈川・千葉・埼玉・愛知・大阪・兵庫・京都・福岡
- サンプルング : 層別無作為抽出法
- 調査対象者 : 1,700人（20代から60代の社会人の男女）
※無作為に抽出し、パネル化したモニターを使用

<回収サンプル数>

		20代	30代	40代	50代	60代	小計	全体
全体	男性	191	171	161	186	137	846	1700
	女性	184	169	161	192	148	854	
北海道圏	男性	29	27	30	32	26	144	300
	女性	30	29	32	36	29	156	
首都圏	男性	61	56	46	54	39	256	500
	女性	55	51	44	54	40	244	
東海圏	男性	35	32	28	34	24	153	300
	女性	33	30	27	33	24	147	
近畿圏	男性	33	29	27	34	25	148	300
	女性	33	30	27	35	27	152	
九州圏	男性	33	27	30	32	23	145	300
	女性	33	29	31	34	28	155	

(実数)

- 集計方法 : ウェイトバック集計（回収したサンプルを市場ボリュームに換算して集計を行う）
各サンプルに、母集団^{<※>}と回収サンプル数から割り出した「ウェイトバック値」を掛け合わせて集計サンプルを算出

<※>2005年 国勢調査 確定値を用いた

	北海道圏	首都圏	東海圏	近畿圏	九州圏	TOTAL
母集団	3,750,163	24,130,606	4,924,302	11,489,367	3,322,453	47,616,891
母集団比率	7.88%	50.68%	10.34%	24.13%	6.98%	100.00%
回数数	300	500	300	300	300	1700
回収比率	17.65%	29.41%	17.65%	17.65%	17.65%	100.00%
ウェイトバック値	0.446	1.723	0.586	1.367	0.395▶
ウェイトバック後サンプル	134	862	176	410	119	1700
ウェイトバック後比率	7.88%	50.68%	10.34%	24.13%	6.98%	100.00%

掛け合わせる

II. 結果の概要

総括

■1枚目の利用頻度・金額ともに増加

1番多く利用するクレジットカードについては、月平均の利用頻度・金額ともに増加。

クレジットカードを保有している人の割合は、2005年以降横ばいであったが、2009年は微減。

一人あたりの保有枚数では、「1枚のみ保有」という人は減少する一方、「6枚以上保有」する人の割合は増加している。また、一人あたりの平均保有枚数および携帯枚数(実際に持ち歩くクレジットカードの枚数)については、ともに昨年比微増となった。

■「ポイント・マイル」への関心が高い

1番多く利用するクレジットカードを利用するおもな理由としては、「ポイントやマイルが貯めやすいから」がほぼ半数に達し、消費者の「ポイント・マイル」への関心の高さがうかがえる。

2番目・3番目に多く使うクレジットカードについては「入会費・年会費が他社と比較して安い(無料含む)から」と回答した人が最も多く、また、「自分のよく利用するお店で割引などのサービスがある」という理由も比較的多いことから、2枚目以降のクレジットカードは消費者が嗜好に合わせ、使い分けをしている傾向が見受けられる。

■携帯電話料金や公共料金など毎月支払いの発生する業種の利用が増加

クレジットカードで支払いを行っている業種については、「携帯電話料金」「電気料金」「ガス料金」など毎月必ず支払いの発生する業種についてクレジットカード利用が伸張している。また、「高速道路料金(ETC料金)」については、ETCの普及にともない経年増加傾向にある。

一方、「百貨店」での利用が2007年以降落ち込んでいる。

■生活費に占めるクレジットカードの決済比率は年々上昇

公共料金やETCなどクレジットカード決済領域の拡大により、生活費に占めるクレジットカードの決済比率は、年々増加傾向にある。

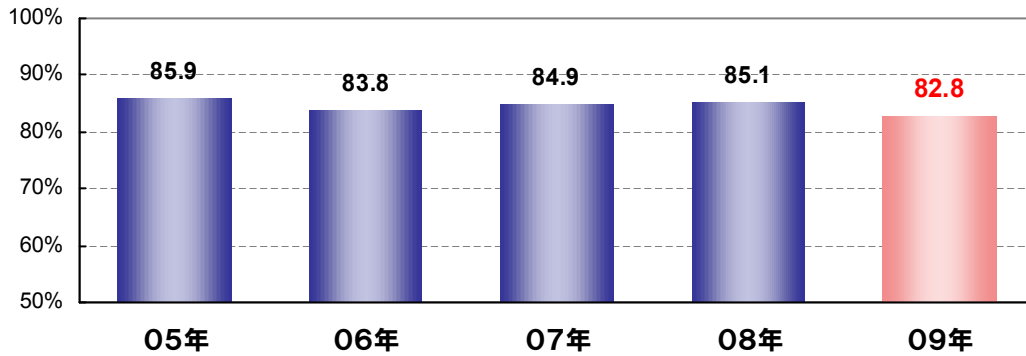
1. クレジットカード保有率

クレジットカードの保有率は、2005年より横ばいであったが、2009年は微減。

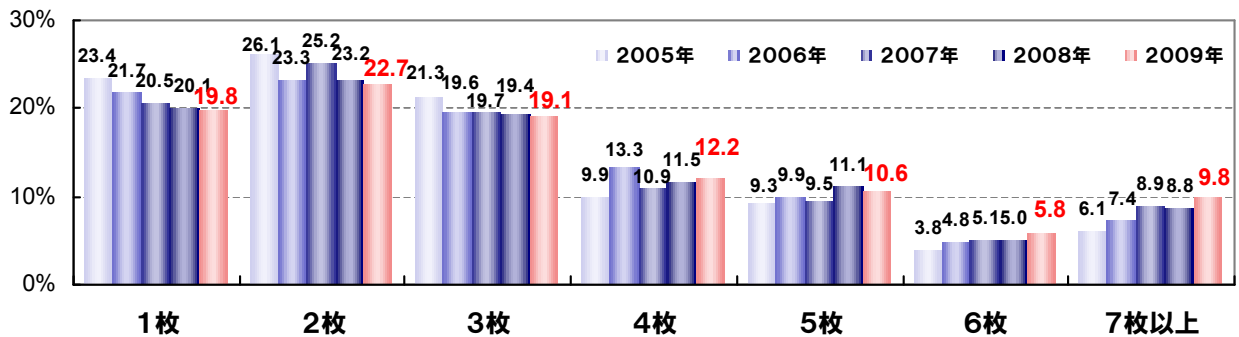
- ・クレジットカード保有率は、2005年以降横ばいで2008年は85.1%であったが、2009年は82.8%に減少。

■ クレジットカード保有率(経年) (N=1569)

※無効回答を除く



クレジットカード保有枚数(経年)



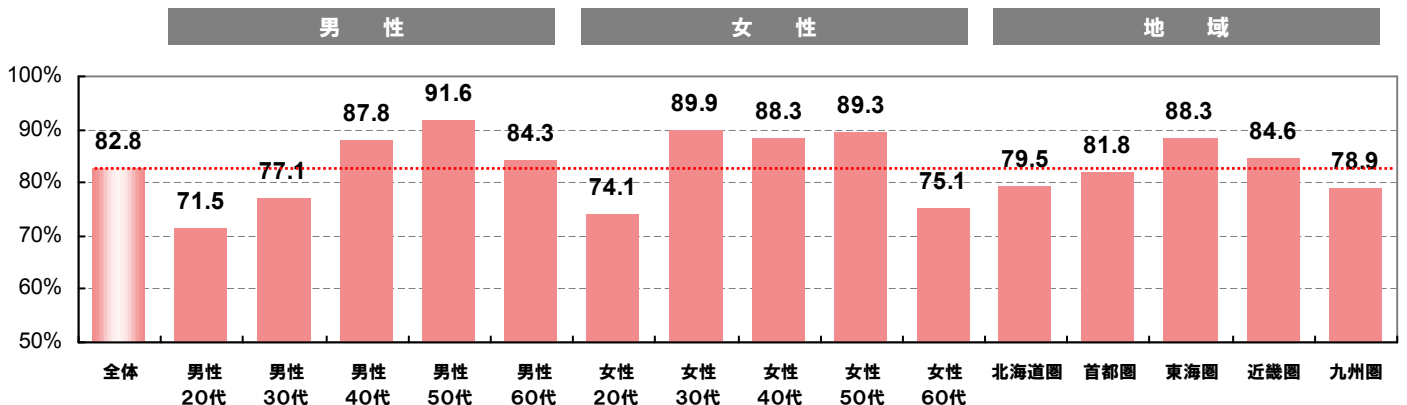
20代の保有率は低く、男性50代の保有率が高い。

- ・クレジットカードの保有率を属性別に見ると、全体82.8%に比べ、20代は男性71.5%、女性74.1%といずれも低い。一方、男性50代の保有率は9割を超える。地域別では、東海圏で88.3%と最も高い。

■ クレジットカード保有率(属性別) (N=1569)

※無効回答を除く

2009年

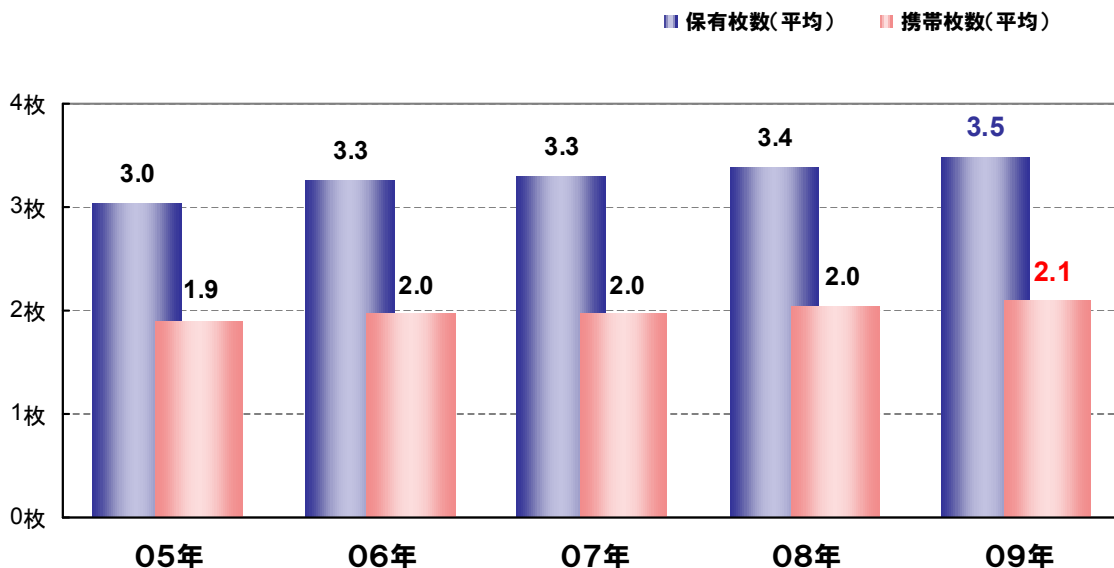


2. クレジットカード保有・携帯枚数

平均保有枚数は3.5枚、平均携帯枚数は2.1枚。ともに昨年比微増。

- 保有枚数平均は、2007年3.3枚、2008年3.4枚、2009年3.5枚と微増傾向にある。
- 携帯枚数(持ち歩いているクレジットカードの枚数)は、2006年以降2.0枚と横ばいであったが、2009年は2.1枚と微増。

■ クレジットカード平均保有枚数(N=1299) / 携帯枚数(N=1299)【経年】

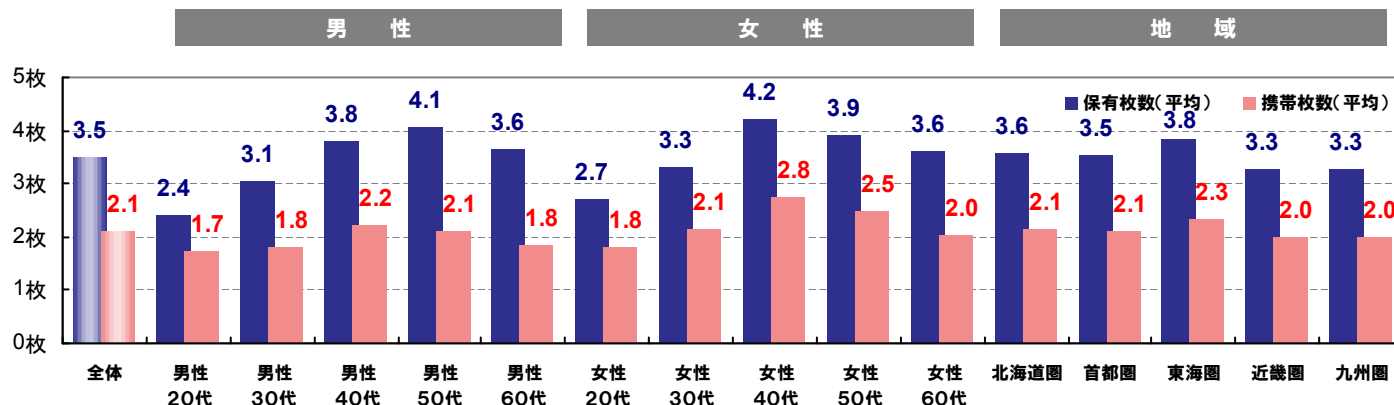


平均保有枚数、平均携帯枚数ともに40代・50代で高い。

- 平均保有枚数を属性別で見ると、40代・50代で4枚前後と高い。一方で20代は3枚に満たず、男性が2.4枚、女性が2.7枚であった。地域別では、東海圏で3.8枚と最も高い。
- 平均携帯枚数は、女性40代が2.8枚と最も多い。

■ クレジットカード平均保有枚数 / 携帯枚数【属性別】

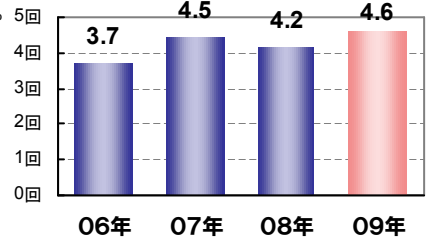
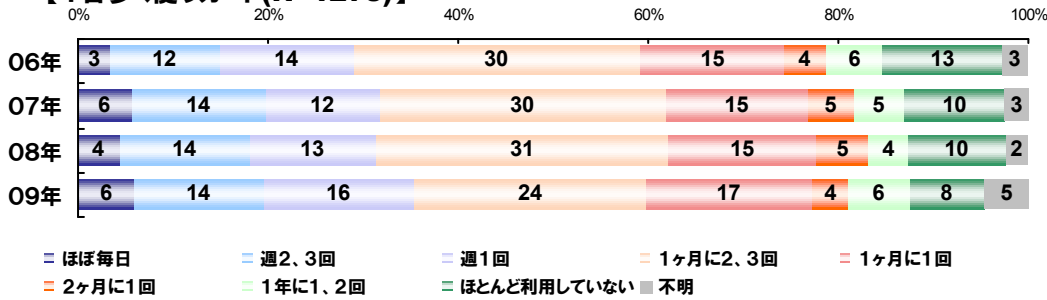
2009年



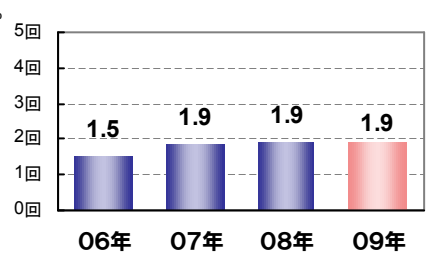
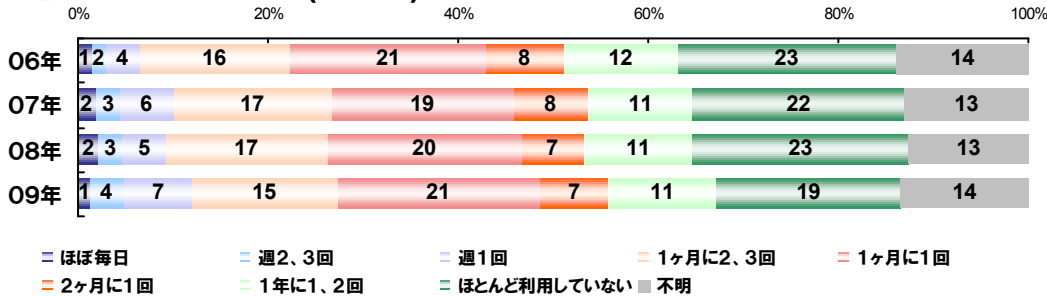
3. クレジットカード利用頻度

「1番多く使う」クレジットカードの月平均利用頻度は4.6回と増加。

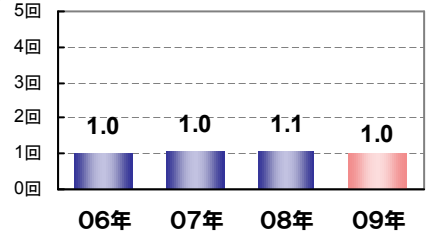
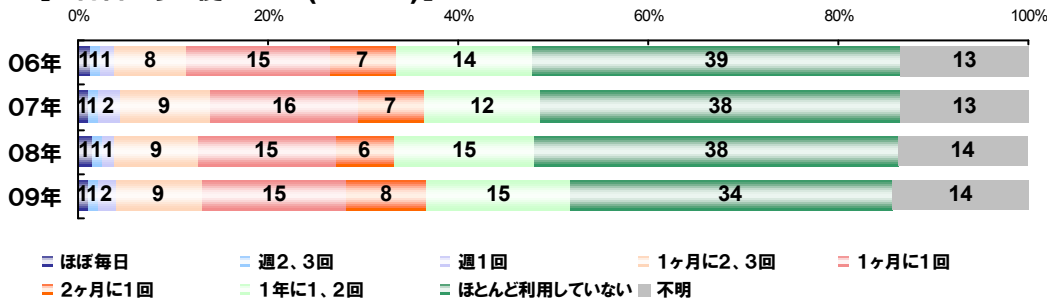
【1番多く使うカード(N=1273)】



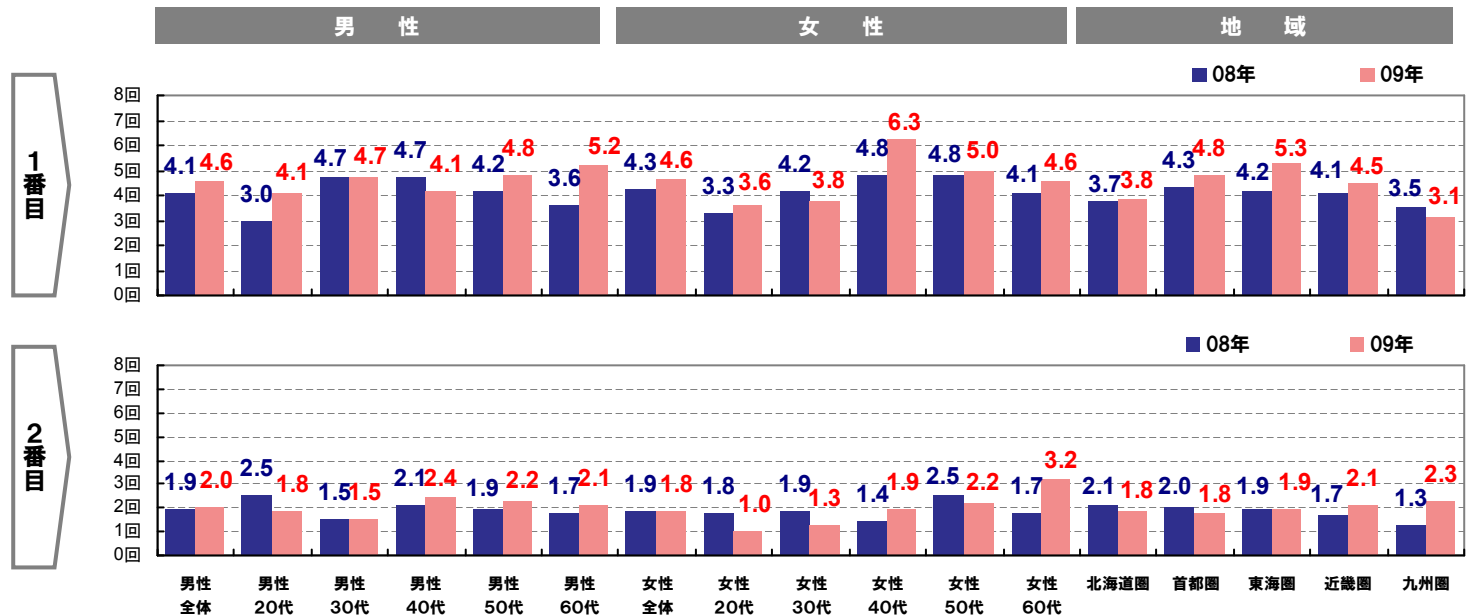
【2番目に多く使うカード(N=945)】



【3番目に多く使うカード(N=622)】



■ 1番・2番目に多く使うカードの属性別 平均利用頻度/月



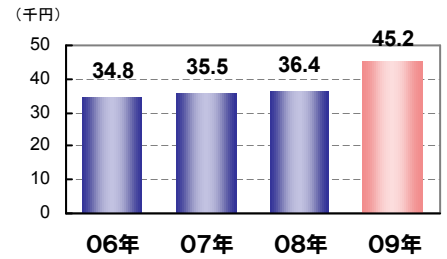
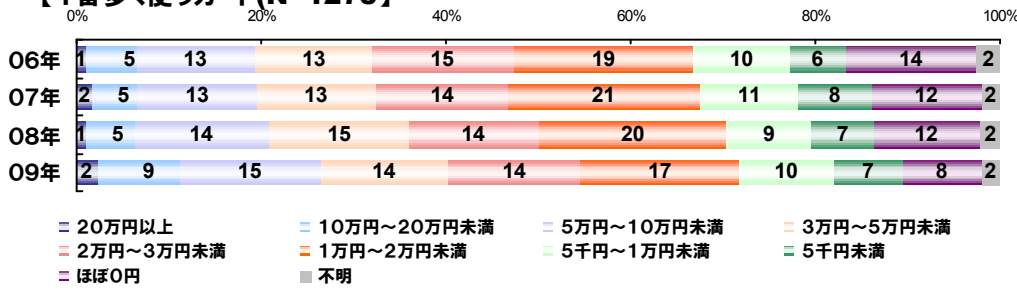
※利用頻度の定義: 本報告書における利用頻度は、下記の選択肢に対して、具体的な利用頻度を定義し、その平均値を算出したものである

選択肢	ほぼ毎日	週2、3回	週1回	1ヶ月に2、3回	1ヶ月に1回	2ヶ月に1回	1年に1、2回	ほとんど利用していない
定義	週に5.5日	週に2.5日	週に1日	月に2.5日	月に1日	2ヶ月に1日	1年に2日	使用していない
年間利用回数推定	286回	130回	52回	30回	12回	6回	2回	0回

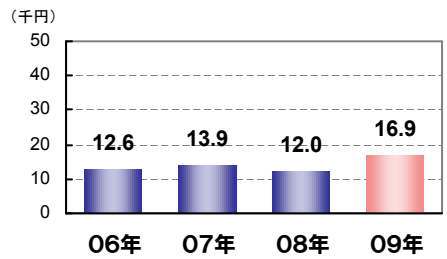
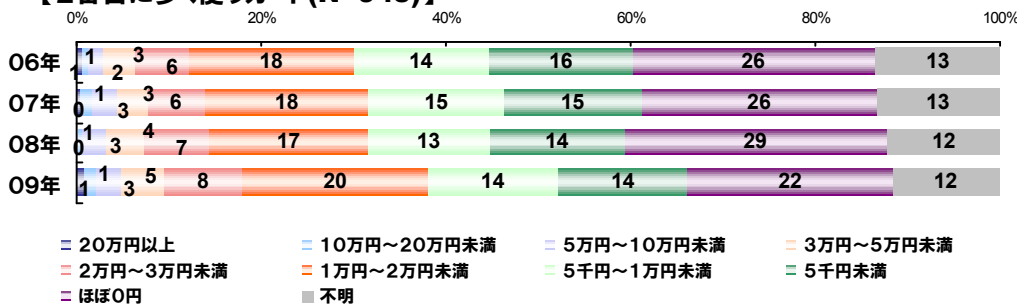
4. クレジットカード利用金額

「1番多く使う」クレジットカードの月平均利用金額は4.5万円で、昨年比増加。
 「2番目に多く使う」クレジットカードの月平均利用金額も1.7万円で、昨年比増加。

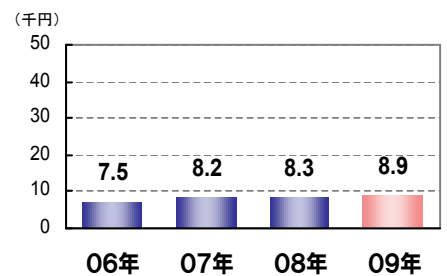
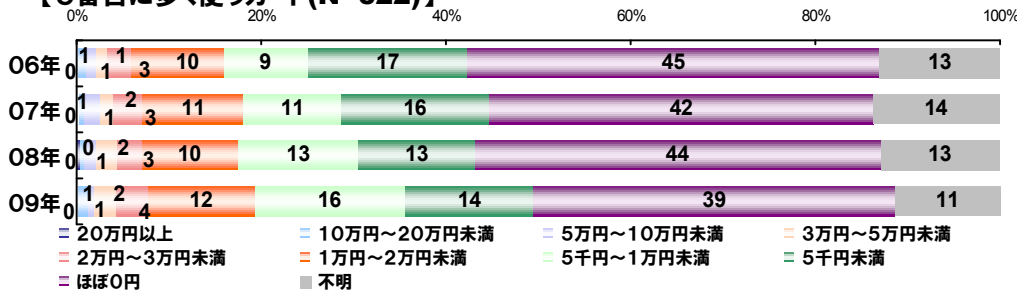
【1番多く使うカード(N=1273)】



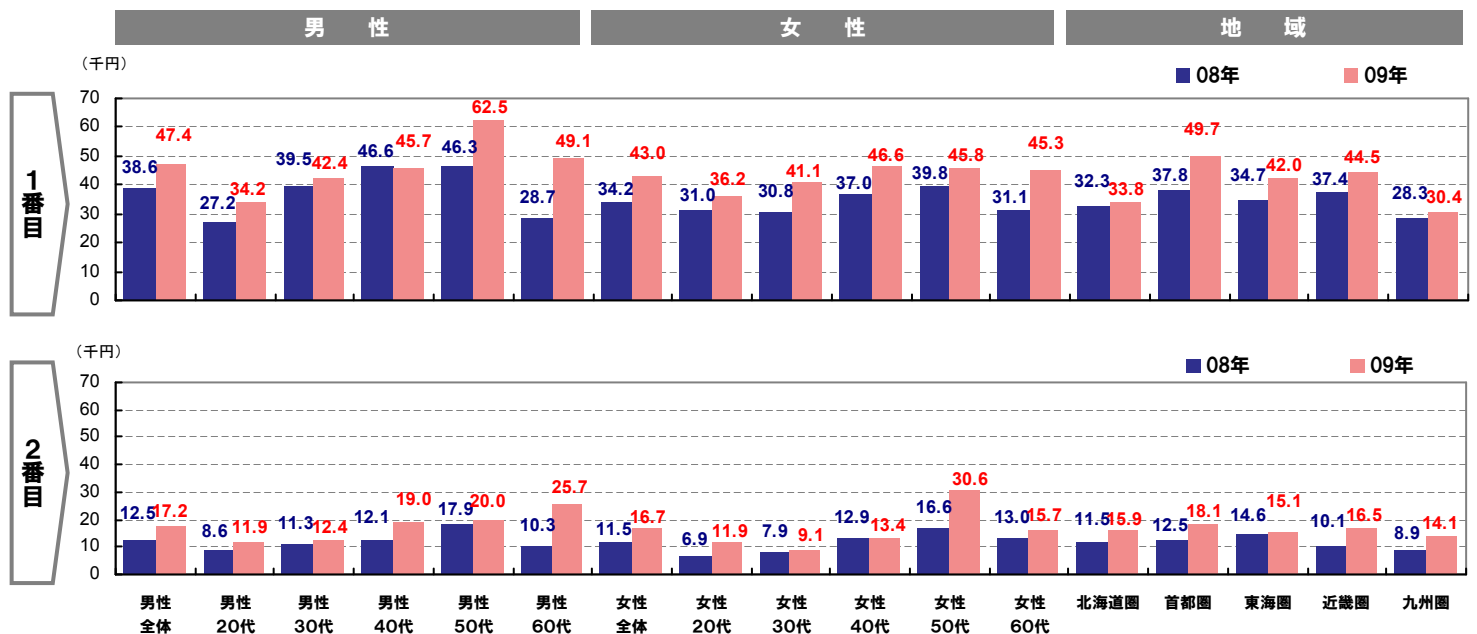
【2番目に多く使うカード(N=945)】



【3番目に多く使うカード(N=622)】



■ 1番・2番目に多く使うカードの属性別 平均利用金額(千円)／月



※利用金額の定義: 本報告書における利用金額は、下記の選択肢に対して、具体的な利用金額を定義し、その平均値を算出したものである

選択肢	20万円以上	10万円～20万円未満	5万円～10万円未満	3万円～5万円未満	2万円～3万円未満	1万円～2万円未満	5千円～1万円未満	5千円未満	ほぼ0円
年間利用回数推定	300,000円	150,000円	75,000円	40,000円	25,000円	15,000円	7,500円	2,500円	0円

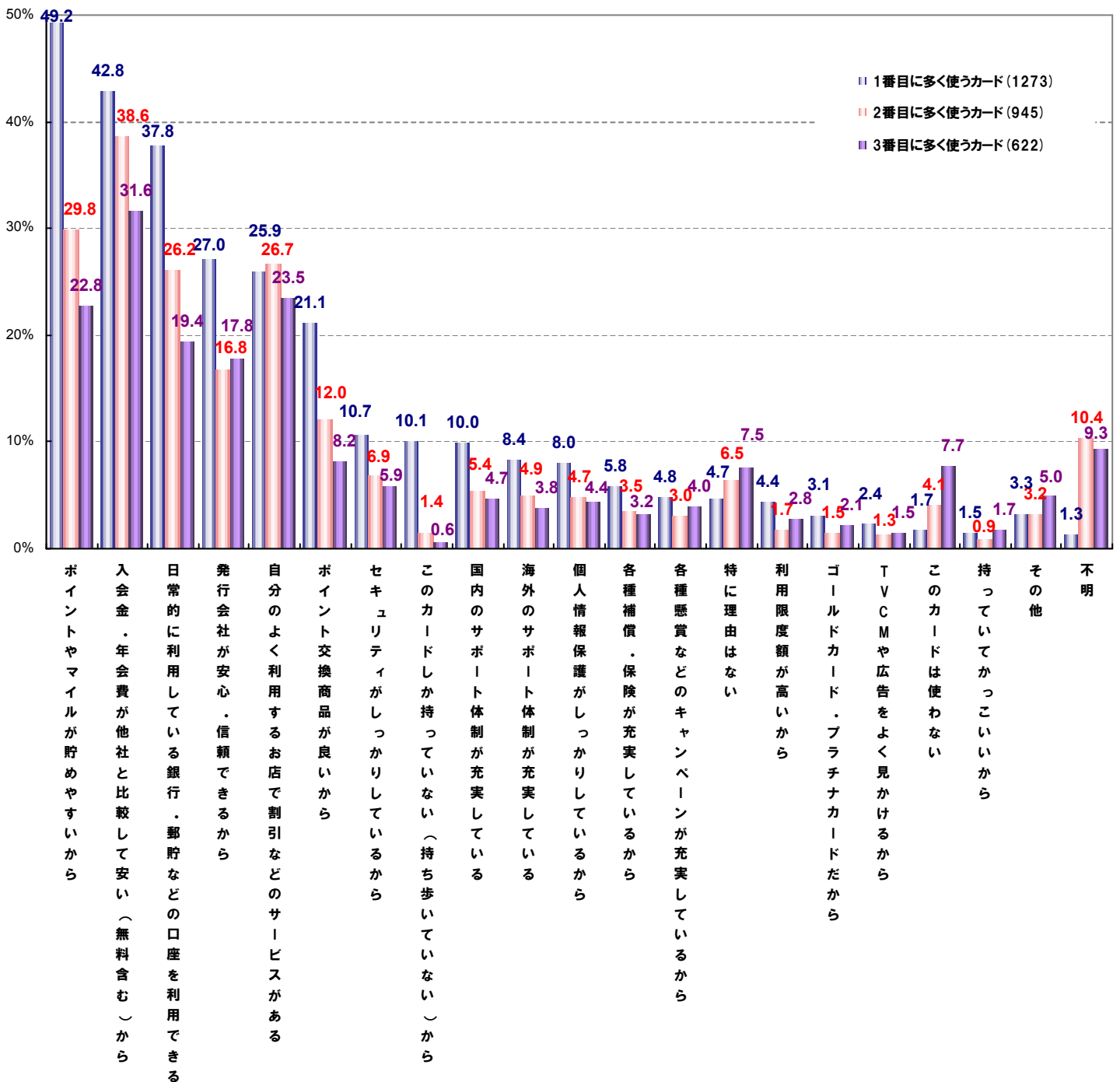
なお、後述する世帯における利用金額は、選択肢ではなく数値回答であるため、そのまま平均値を算出した

5. 保有クレジットカードごとの利用理由

1番目に多く使うクレジットカードの利用理由としては、「ポイントやマイルが貯めやすいから」が最も多く、ほぼ半数に達する。

- 1番目に多く使うクレジットカードの利用理由としては「ポイントやマイルが貯めやすいから(49.2%)」、「入会金・年会費が他社と比較して安い(無料含む)から(42.8%)」「日常的に利用している銀行・郵貯などの口座を利用できる(37.8%)」と続く。
- 2番目・3番目に多く使うカードでは「入会金・年会費が他社と比較して安い(無料含む)から」が最も多く、また、「自分のよく利用するお店で割引などのサービスがある」も比較的多い。

■ クレジットカード発行会社の利用理由

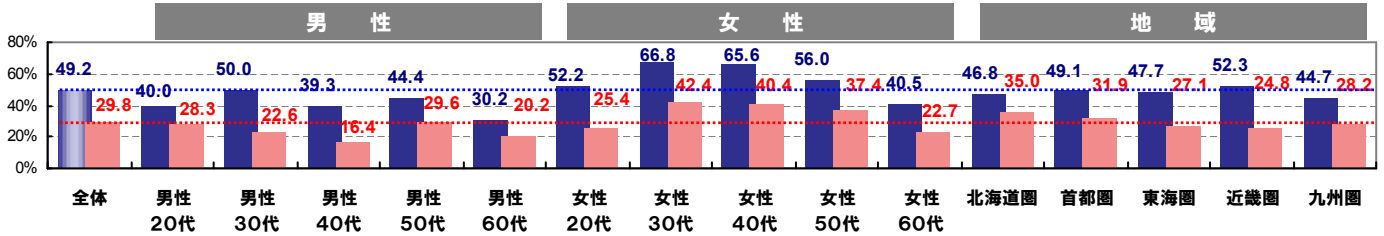


女性30代40代では「ポイントやマイルが貯めやすいから」と回答した割合が全体に比べ高く、1番目に多く使うカードでは6割、2番目に多く使うカードでも4割を超える。「発行会社が安心・信頼できるから」については、男性50代60代で全体に比べて多い。

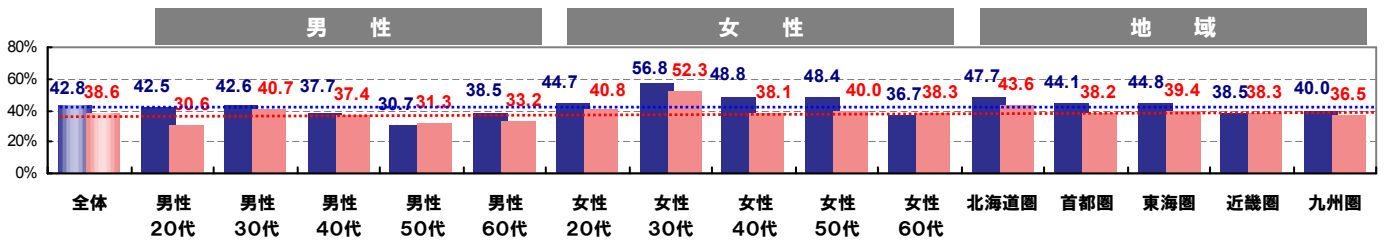
■ クレジットカード発行会社の利用理由【属性別】 上位5項目

■ 1番目に多く使うカード
■ 2番目に多く使うカード

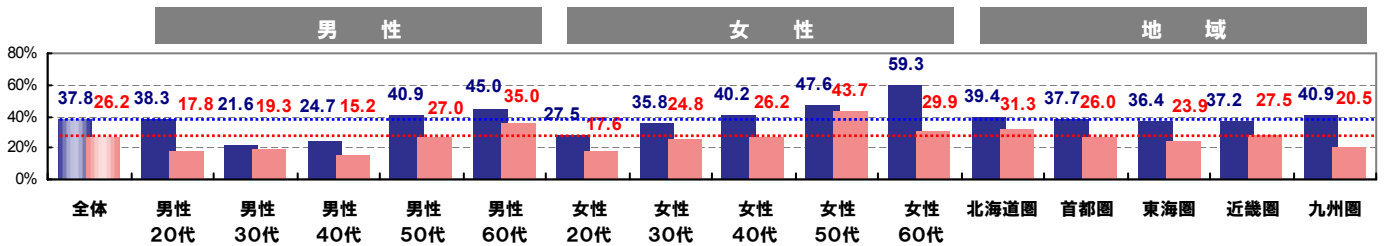
ポイントやマイルが貯めやすいから



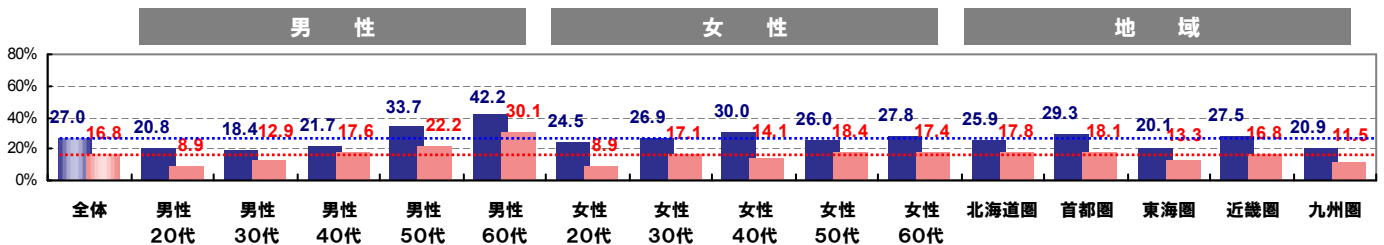
入会金・年会費が他社と比較して安い(無料含む)から



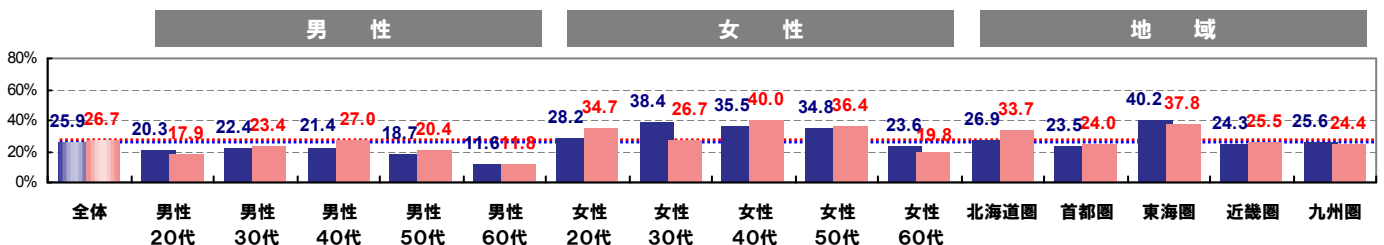
日常的に利用している銀行・郵貯などの口座を利用できる



発行会社が安心・信頼できるから



自分のよく利用するお店で割引などのサービスがある



6. クレジットカード利用業種

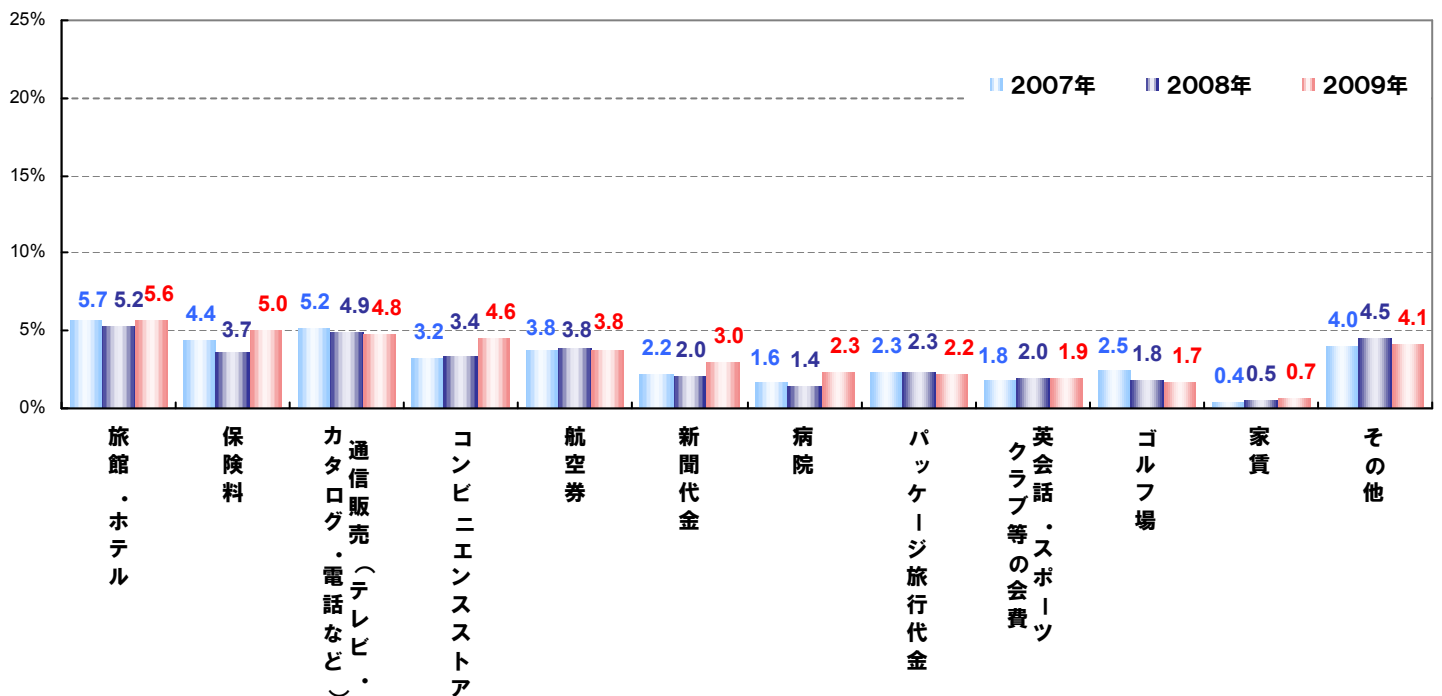
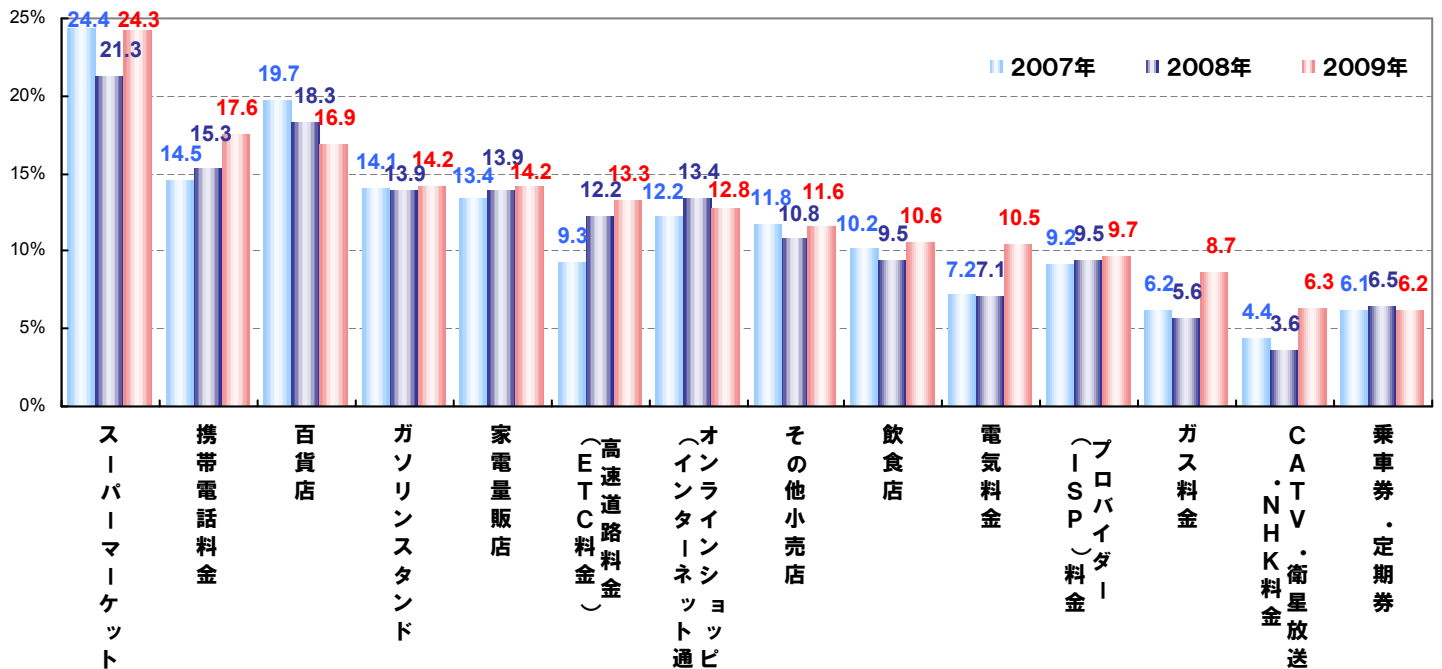
「スーパーマーケット」の利用が最も多く24.3%。

「百貨店」での利用は年々減少傾向にあるが、公共料金など毎月支払いの発生する業種については昨年比増加。

- ・クレジットカードを利用している業種は、「スーパーマーケット」が24.3%で最も高く、「携帯電話料金(17.6%)」「百貨店(16.9%)」の順となった。
- ・「百貨店」での利用は2007年以降減少傾向にある。
- ・「携帯電話料金」「電気料金」「プロバイダー(ISP料金)」「ガス料金」「CATV・衛星放送・NHK料金」「保険料」「新聞代金」など、毎月定期的に支払いの発生する業種が昨年比増加した。

■ 過去3ヶ月のクレジットカード利用業種【経年】(N=2840:クレジットカード枚数)

※ここでのクレジットカード利用業種は、全クレジットカード枚数(回答者1人あたり複数枚数について回答)をベースとして集計しています。



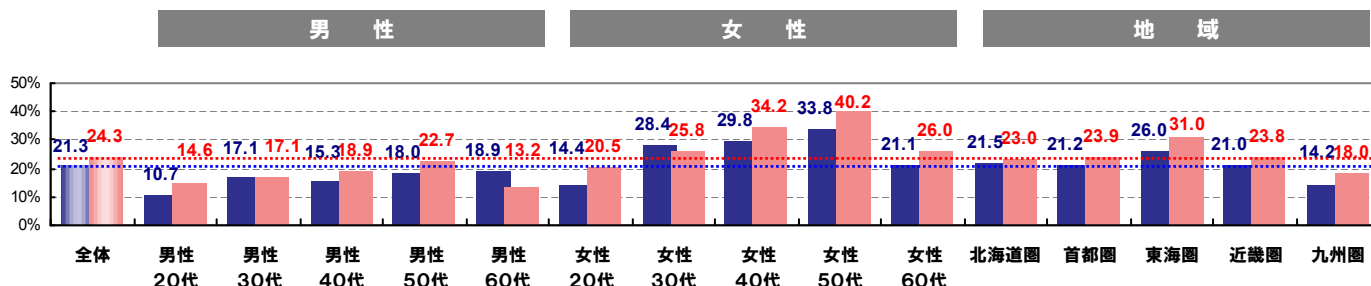
「携帯電話料金」では、男性20代30代で上昇傾向にある。
 「百貨店」は全体で昨年比減少しているが、女性20代では約10ポイントの増加。

■ クレジットカード利用業種【属性別】

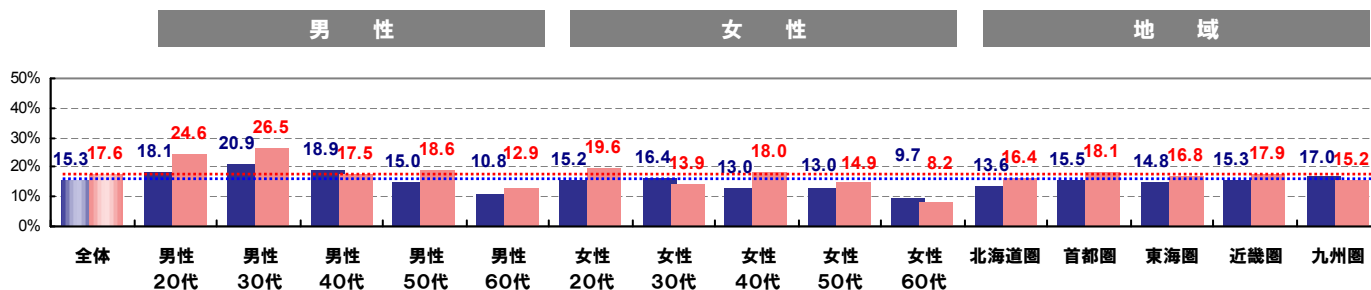
※ここでのクレジットカード利用業種は、全クレジットカード枚数をベースとして集計しています。

スーパーマーケット

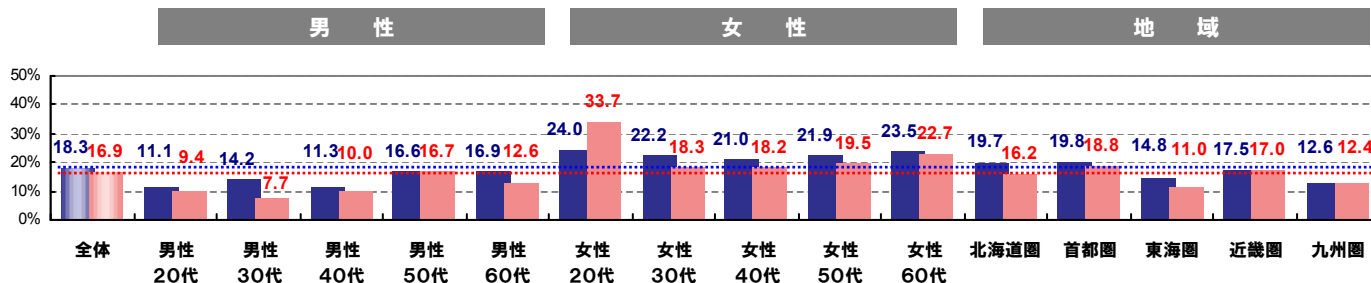
■ 2008年 ■ 2009年



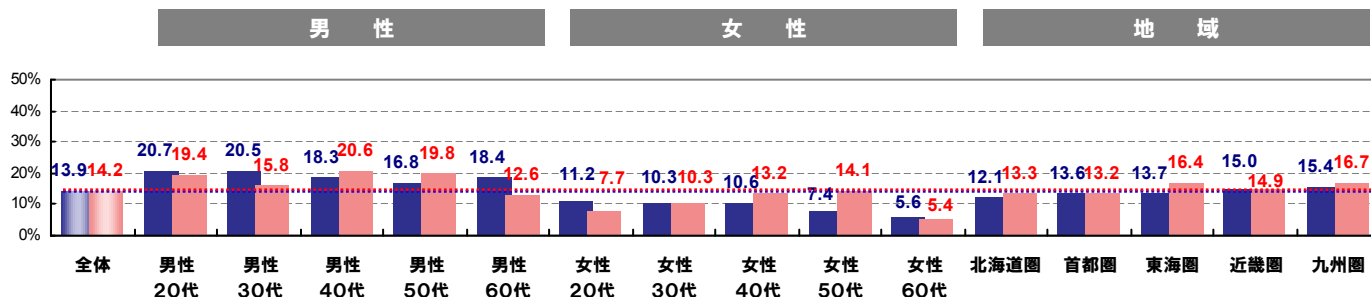
携帯電話料金



百貨店



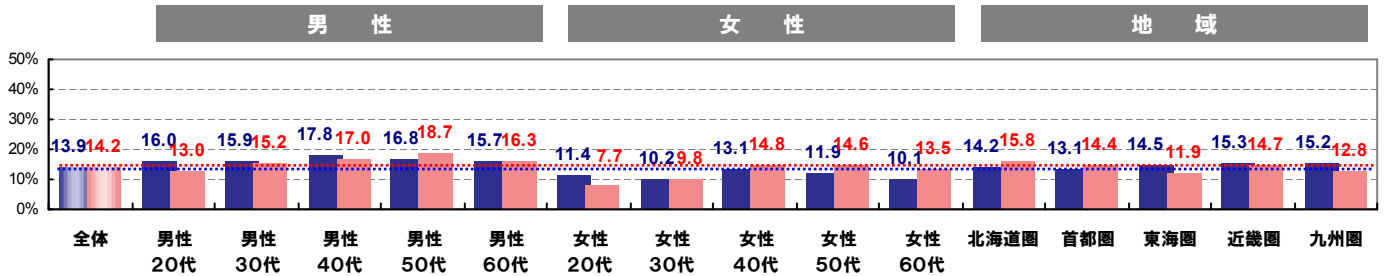
ガソリンスタンド



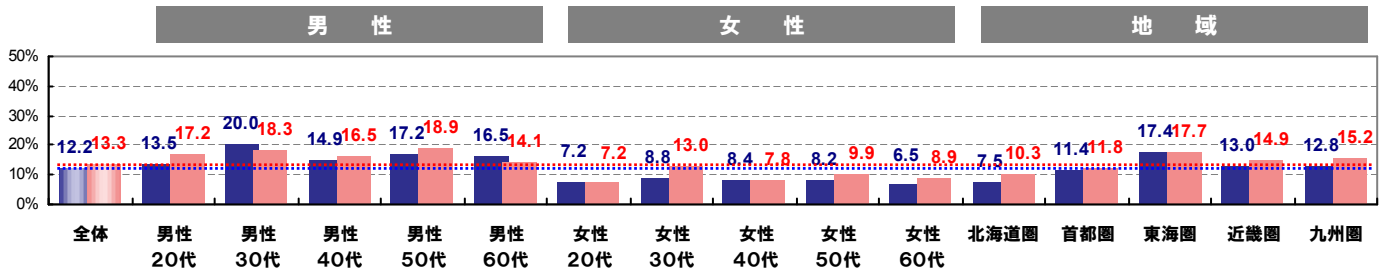
「高速道路料金(ETC料金)」は、男性の利用が多い。
 「オンラインショッピング」は男女とも若年層の利用が目立つ。

家電量販店

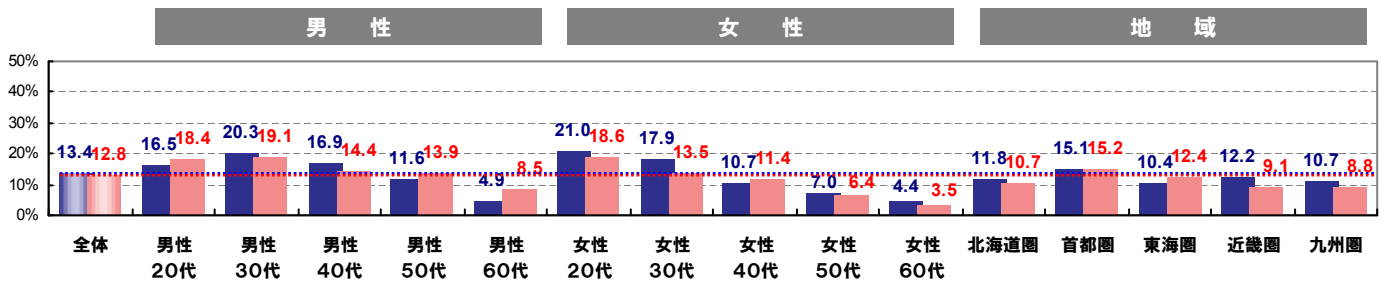
■ 2008年 ■ 2009年



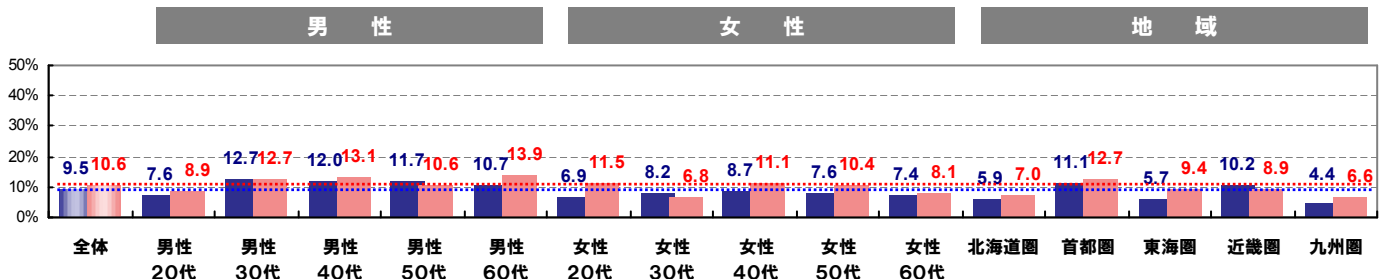
高速道路料金(ETC料金)



オンラインショッピング



飲食店

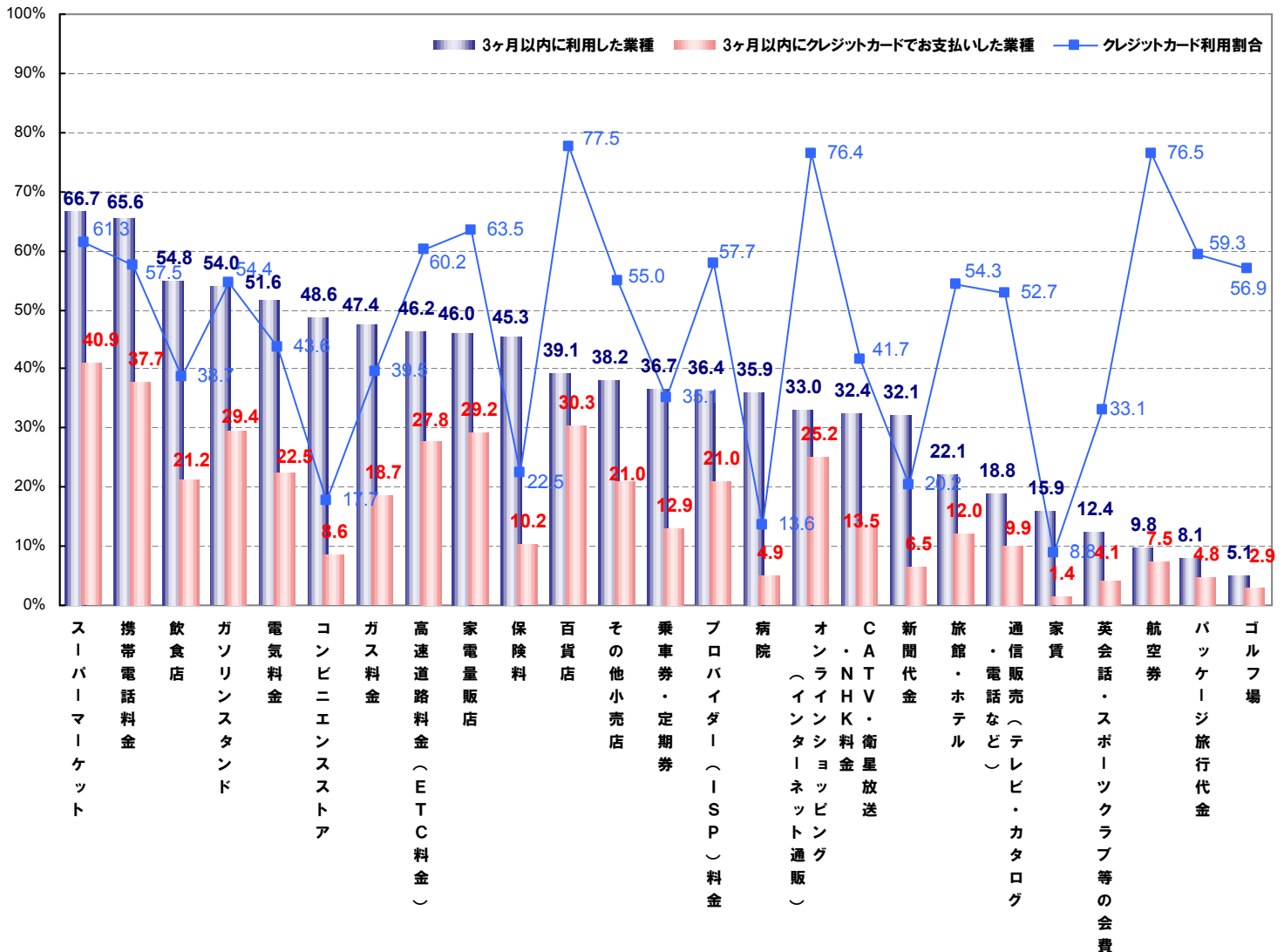


7. 支払いの際のクレジットカード利用割合

クレジットカード保有者が支払いの際に、クレジットカードを利用する割合が7割を超える業種は「百貨店」「オンラインショッピング」「航空券」。

■ 支払いの際のクレジットカード利用割合 (N=1299:クレジットカード保有者)

※ここでの利用業種は、クレジットカード保有者をベースとして集計しているため、前出の「クレジットカード枚数」をベースとした数値とは異なります。



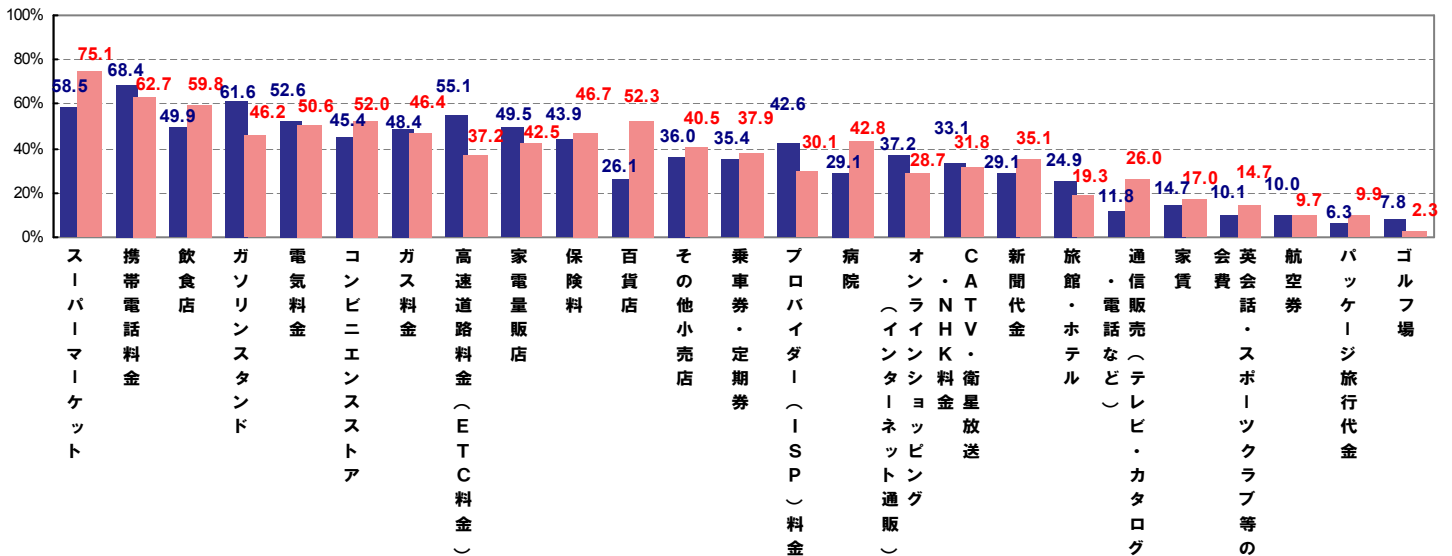
- ・3ヶ月以内に支払いをした業種・・・クレジットカード、現金等を問わず3ヶ月以内に支払いをした業種
- ・3ヶ月以内にクレジットカードで利用した業種・・・3ヶ月以内にクレジットカードで支払いをした業種
- ・クレジットカード利用割合・・・クレジットカード保有者をベースとして、「3ヶ月以内にクレジットカードで利用した」が「3ヶ月以内に支払いをした(クレジットカード、現金等問わず)」の人数に占める割合を%で示したもの。

$$\text{クレジットカード利用割合} = \left[\frac{\text{3ヶ月以内にクレジットカードで利用した業種}}{\text{3ヶ月以内に支払いをした業種}} \right] \times 100\%$$

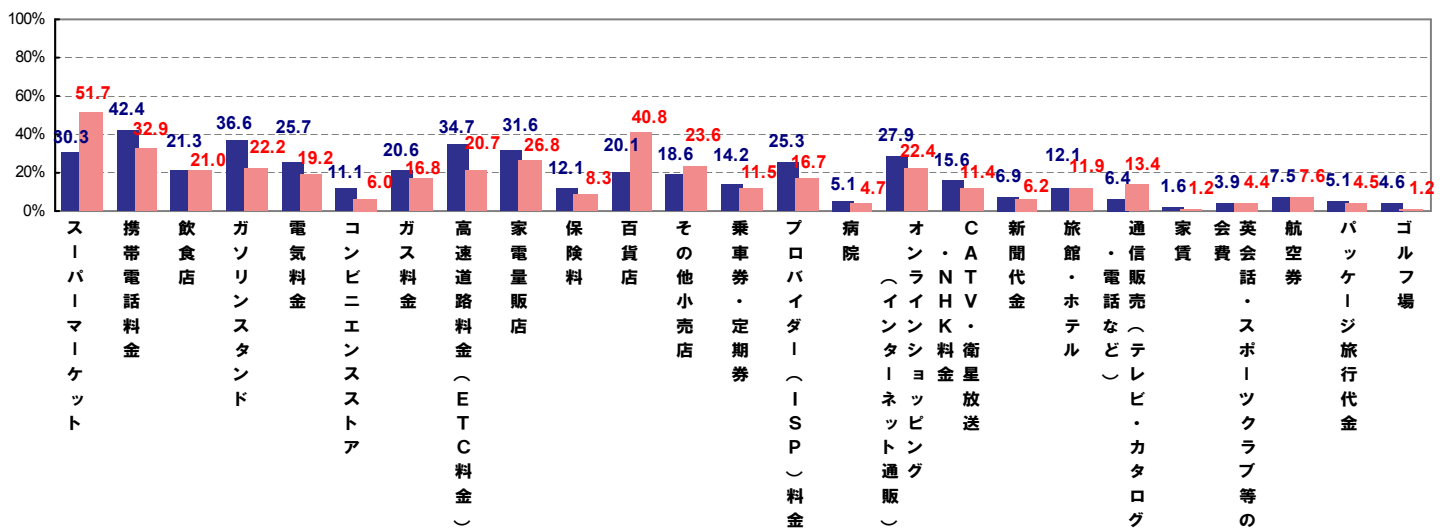
男女別に見ると、全般に男性のほうがクレジットカードで支払う割合が高い。
ただし、「スーパーマーケット」では、女性が男性を大幅に上回る。

■ 3ヶ月以内に支払いをした業種

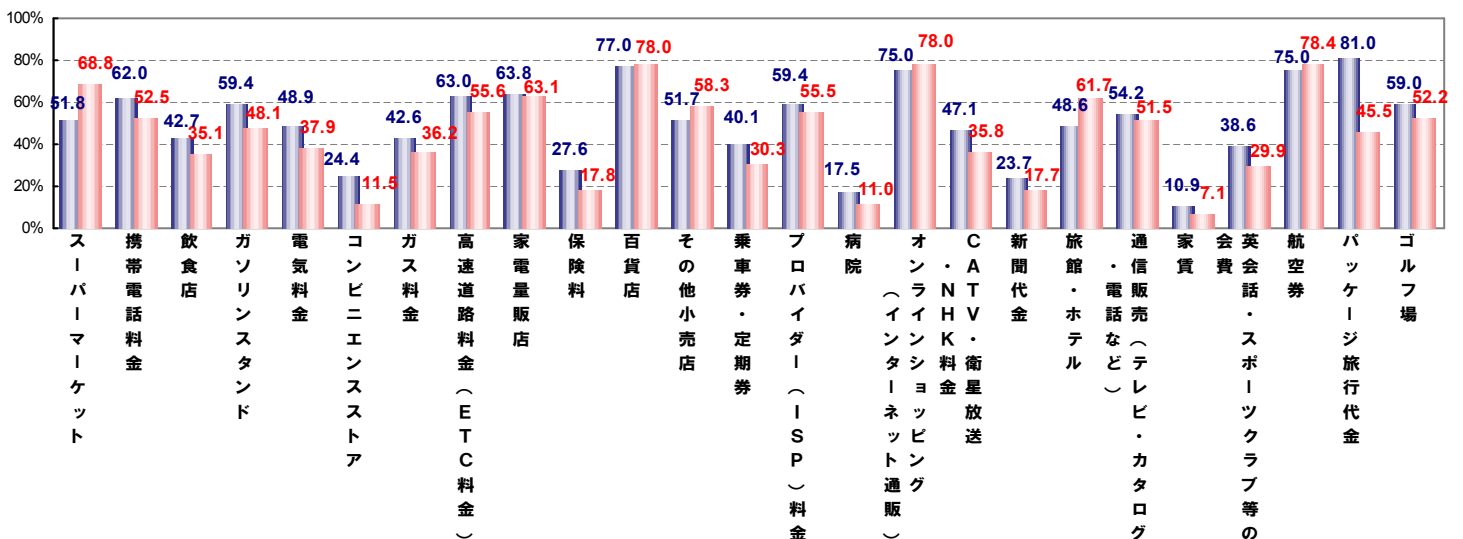
■ 男性(655) ■ 女性(644)



■ 3ヶ月以内にクレジットカードで利用した業種



■ クレジットカード利用割合



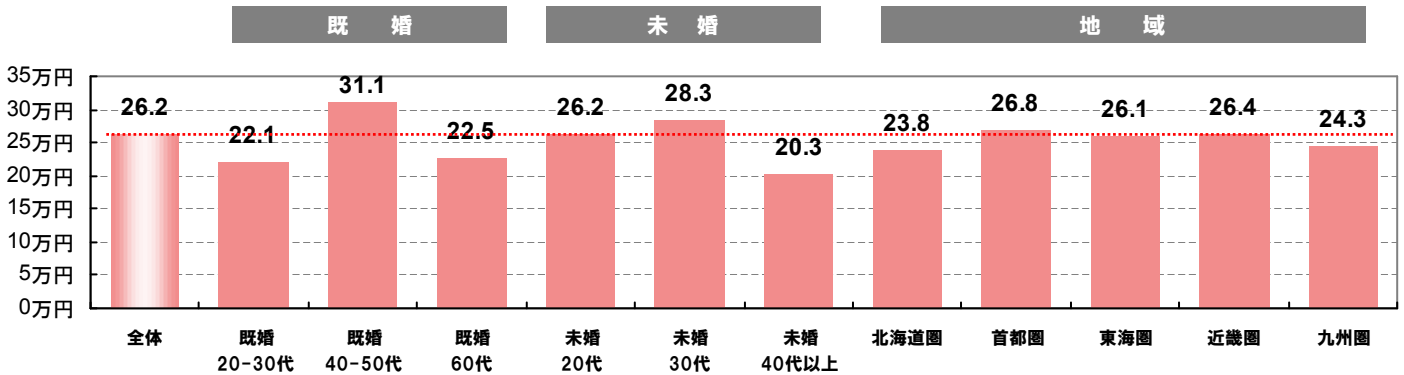
8. 月平均生活費とクレジットカード利用額

世帯あたりの月平均生活費は、26.2万円。うち4.9万円がクレジットカードで支払われている。

- 世帯あたりの月平均生活費は26.2万円であった。既婚世帯ほど生活費は多く、特に40-50代の既婚世帯で高い。
- 世帯あたりの月平均クレジットカード利用額は4.9万円。これも既婚世帯で多く、特に既婚40-50代は6.6万円と高い。首都圏・東海圏では5.3万円と高い。一方、北海道圏・九州圏では低く、4万円に満たない。

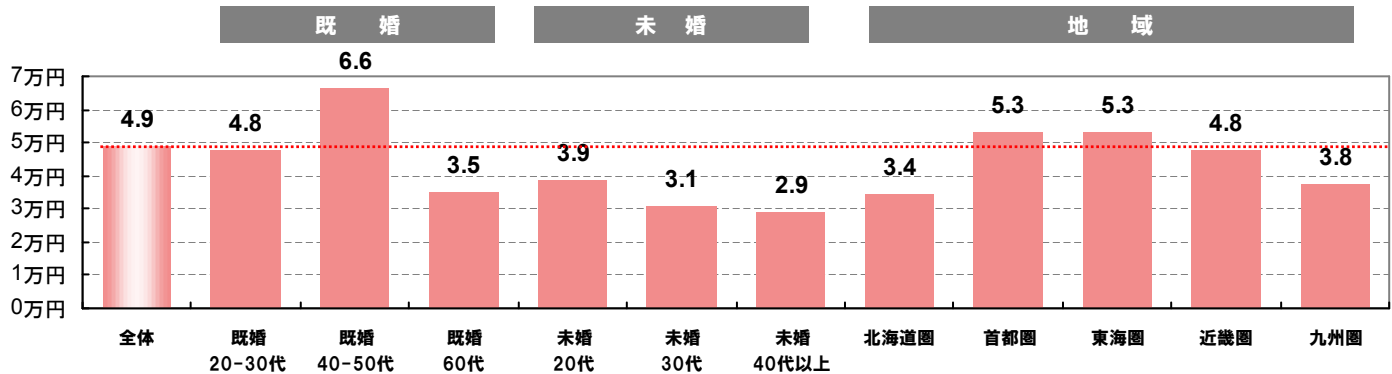
■ 世帯あたり月平均生活費【属性別】 (N=1553)

2009年



■ 世帯あたり月平均クレジットカード利用額【属性別】 (N=1605)

2009年

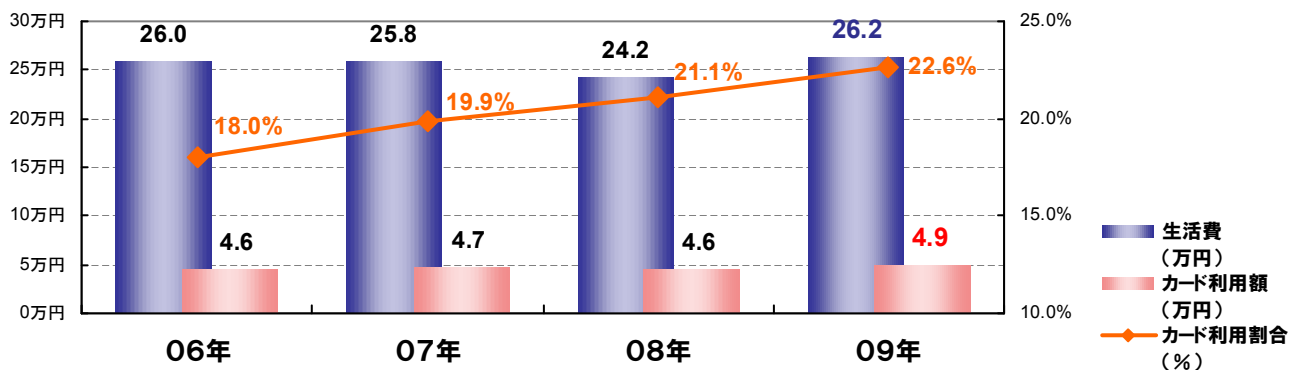


月平均生活費は上昇。クレジットカードを利用する割合は経年で増加傾向にある。

- 世帯あたりの月平均生活費は2009年は26.2万円と昨年比2万円の増加。
- 世帯あたりの月平均クレジットカード利用額は昨年比微増の4.9万円。
- 生活費に占めるクレジットカード利用割合は上昇傾向にあり、2009年は22.6%であった。

■ 世帯あたり月平均生活費 (N=1553) / カード利用額 (N=1605)【経年】

※カード利用割合(%)は、世帯あたりの月平均生活費に占めるカード利用額の割合である。回答者個別のカード利用割合を算出し、その平均値を採用した

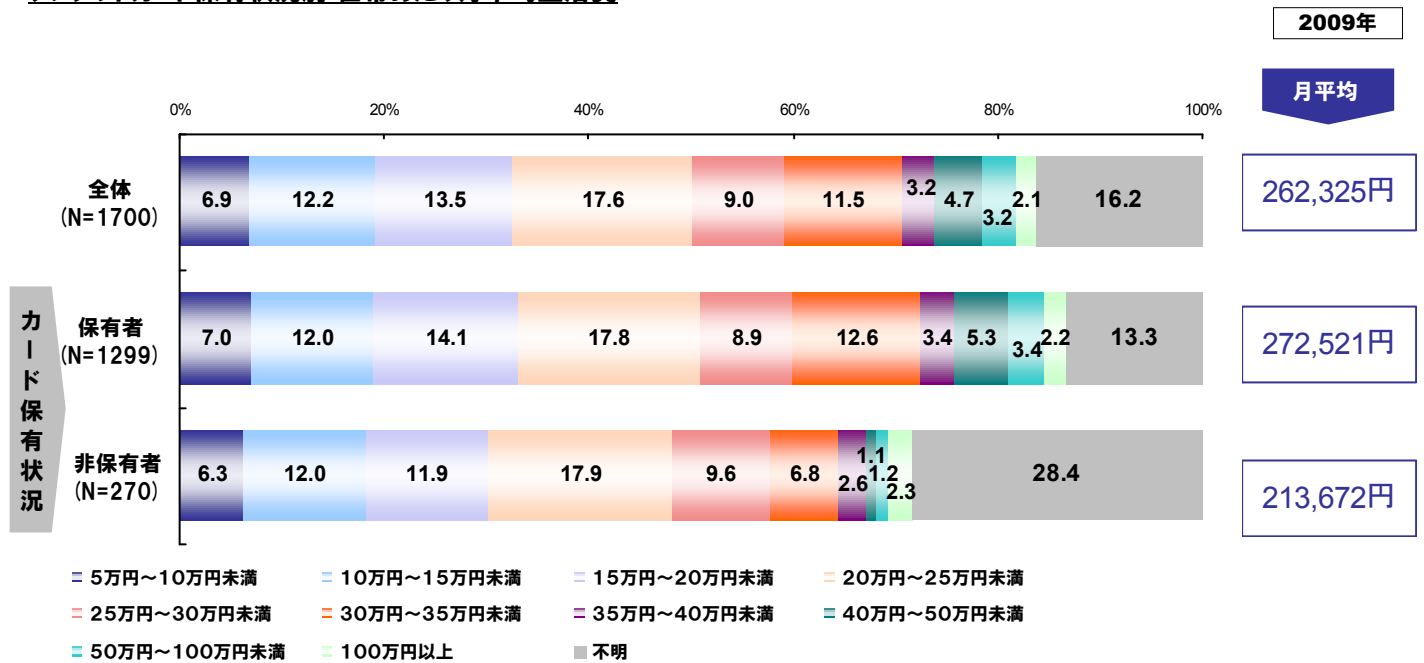


9. 月平均生活費とクレジットカードの保有状況

クレジットカード保有者の月平均生活費は27.3万円、非保有者の月平均生活費は21.4万円。

- クレジットカードの保有・非保有別に見た月平均生活費では、保有者が月平均27.3万円であるのに対し、非保有者は21.4万円となり、カード保有者が非保有者を5万円以上、上回る。
- クレジットカードの保有状況と、世帯あたりの月平均生活費には、相関関係があると考えられる。
- クレジットカード保有者、非保有者ともに月平均生活費が昨年比上昇。

■ クレジットカード保有状況別 世帯あたり月平均生活費



■ 世帯あたり月平均生活費【クレジットカード保有状況別】

